

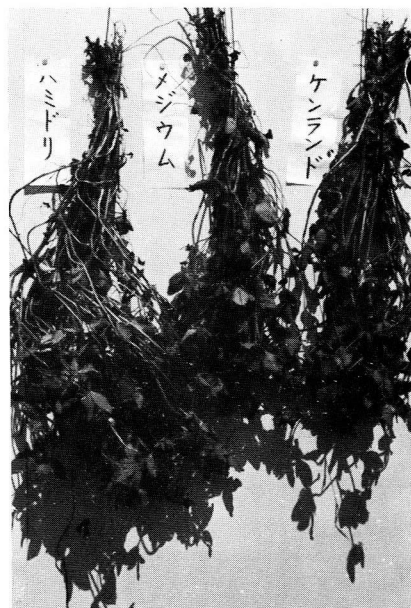
赤クローバ品種の使い分け

品 種 名	主 な 特 性	早 晩 性			適 地	
		早 生	中 生	晩 生	寒冷地	暖 地
メジウム	開花早く再生も早いが病害に弱い。	○			○	
ハミドリ	草丈伸長し多葉で病害に強く多収。		○		○	
サッポロ	病害に強く、再生良好で多収。		○		○	
マンモス	茎葉大きく1番刈で多収。再生力は弱い。			○	○	
アルタスエード	晩生で1番刈のみ多収。永続性良好。			○	○	
ケンランド	病害に強く、再生も良い。暖地に適する。	○				○
ペンスコット	早生で伸長早く、再生も旺盛。同上。	○				○

寒冷地・高冷地

早生～中生品種は春の生育が早く、また刈取後の再生も早いので3～4回刈取り収穫できます。ハミドリ・サッポロは北海道で優良奨励品種に指定され、耐病性〈北方型炭疽病等〉強く多収で永続性も良好であり、東北地方においても冬枯れ菌核病に強く多収であることが実証されています。

晩生品種は開花期が約2週間も遅く、1番草は多収を示しますが再生が弱く2番草の収量はあまり期待できません。したがって、1回刈用の品種として諸外国においても使い分けされています。



暖 地

多回刈りを行っても再生繁茂力が強く、病害〈南方型炭疽病等〉に耐える品種はケンランド・ペンスコットであり、山野の草地造成や採草用混播草地等に利用されています。

赤クローバ生草収量比較成績（上野幌育種場昭和39～41）

品 種 名	開 花 始	1 年 目		2 年 目					3 年 目				1～3年目	
		I	同左比率	I	II	III	計	同左比率	I	II	計	同左比率	合計	同左比率
メジウム	6.14	2,350	100	2,880	1,530	460	4,870	100	2,420	1,770	4,190	100	11,410	100
ハミドリ	6.20	2,320	99	4,760	1,420	550	6,730	138	3,160	2,180	5,340	127	14,390	126
マンモス	6.28	2,310	98	4,920	—	390	5,310	109	2,730	1,620	4,350	104	11,970	105
アルタスエード	6.30	1,950	87	5,220	—	480	5,710	117	2,990	1,430	4,420	105	12,080	106

備考 生草収量10アール当りkgを示す。